

# 山ノ上碑(高崎市)

ここを左手に行くと山ノ上碑があるようだ



ここを登って行く/右手前に石碑が立っている



万葉集の歌碑のようだ



この先は石段になっている



途中の踊り場に説明板が立っていた



この更に上にある山ノ上碑の脇に山ノ上古墳があるが、その横穴式石室に建てられた窟堂(観音堂/馬頭観音が祀られている)について記されている



更に石段を登ろう



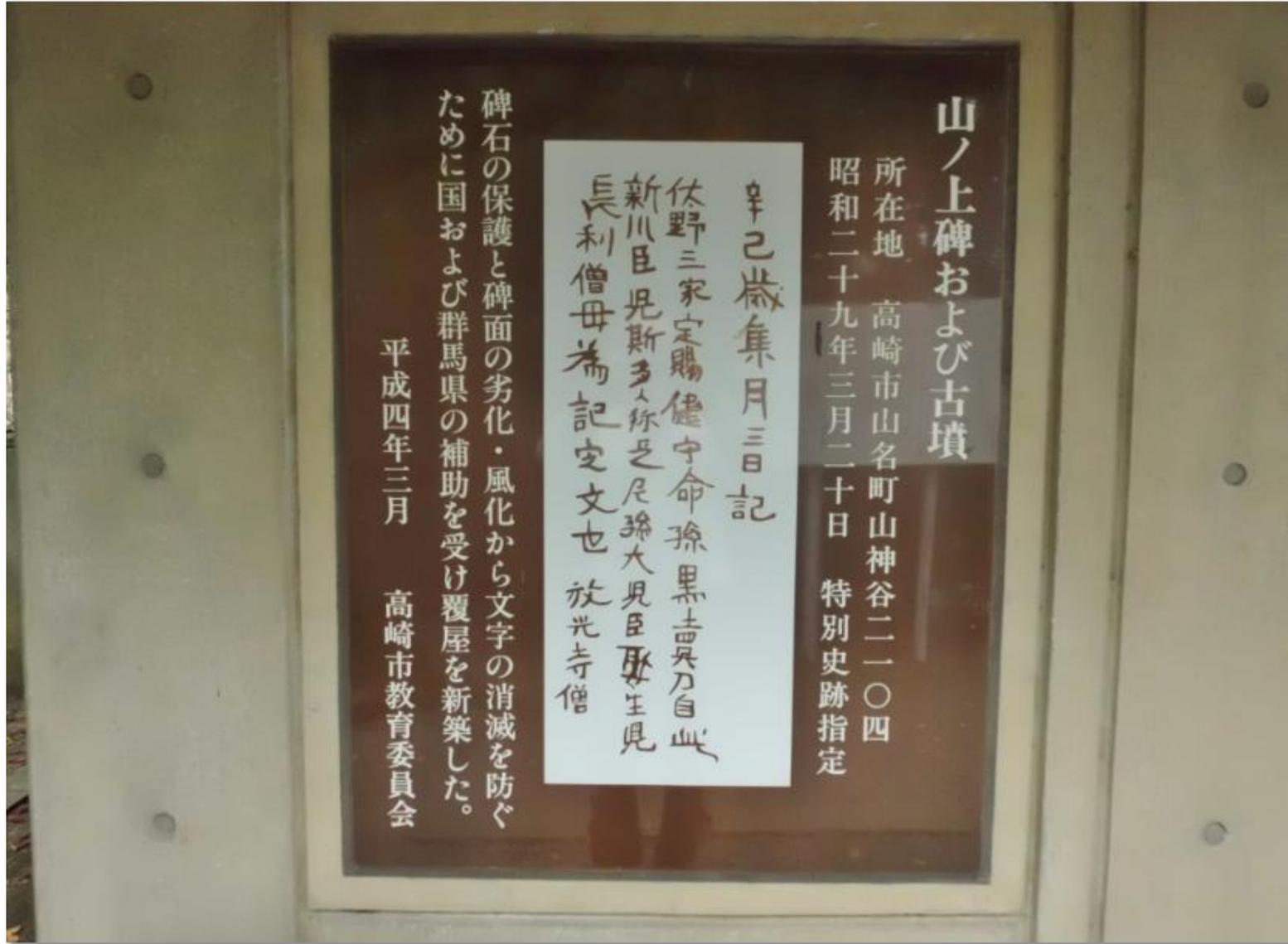
この覆屋に山ノ上碑が保存されている/右手前は山ノ上古墳



山ノ上碑の覆屋



これは山ノ上碑の碑文の拓本を印刷したもの



これが「上野三碑あるいは上毛三碑」の一つ、山ノ上碑



天武10(681)年に立てられた石碑で輝石安山岩の自然石に53字を刻む/碑文「辛巳歳集月三日記  
佐野三家定賜健守命孫黒売刀自此 新川臣兒 斯多々弥足尼孫大兒臣娶生兒 長利僧母為記定文也  
放光寺僧」



#### 現代語訳

辛巳年10月3日に記す。  
佐野三家(さのみやけ)をお定めになった  
健守命(たけもりのみこと)の子孫の黒売刀自  
(くろめとじ)。これが、新川臣(につかわの  
おみ)の子の斯多々弥足尼(したたみの  
すくね)の子孫である大兒臣(おおごのおみ)  
に嫁いで生まれた子である長利僧(ちょうりの  
ほうし)が、母の為に記し定めた文である。  
放光寺の僧。

右側面を見たところ



説明板が立っている/山ノ上碑は、天武10(681)年に立てられた日本最古級の石碑で放光寺(前橋市総社町の山王廃寺)の僧である長利が、亡き母の黒売刀自を供養するとともに、母と自分の系譜を記して顕彰したもの/碑に隣接する山ノ上古墳は黒売刀自の父の墓として造られ、後に黒売刀自を追葬(帰葬)したものと考えられている/碑文にある三家(みやけ、屯倉)とは、6世紀~7世紀前半に各地の経済的・軍事的要地に置かれたヤマト政権の経営拠点で、健守命が佐野三家の始祖に位置づけられている



### 特別史跡 山上碑及び古墳

所在地 高崎市山王町二〇四  
 指定年月日 (史跡) 大正一〇(一九二一)年三月三日  
 (特別史跡) 昭和二九(一九五四)年三月二〇日

#### ■経文

辛巳歲集月三日記  
 佐野三家定庵健守命孫黒売刀自此  
 新川臣兒斯多々孫足尾孫大兒臣孫生兒  
 長利健母為記此文也 放光寺僧

#### ■現代語訳

辛巳年(天武天皇一〇年)西暦六八一(一〇)月三日に記す。  
 佐野三家をおたねになつた健守命の子孫の黒売刀自、これに、  
 新川臣の子の斯多々孫足尾の子孫である大兒臣に傳へて生まれた  
 子であるわたくし長利健母、母(黒売刀自)の爲に記し定めた文  
 である。放光寺の僧。

#### ■解説

山上碑は、磐石(山王岩)の自然石(高さ一・一〇m)に五文字を刻んだもので、天武朝の六八一(一〇)年に立てられた日本最古級の石碑である。放光寺の僧である長利が、亡き母の黒売刀自を供養するとともに、名族であった母と自分の系譜を記して顕彰したものである。黒売刀自は、碑の傍らにある山ノ上古墳に埋葬されたと考えられる。碑文にある三家「みやけ」とは、六世紀~七世紀前半に各地の経済的・軍事的要地に置かれたヤマト政権の経営拠点である。佐野三家は高崎市南部の島川両岸(現在の佐野・山名地区一帯)にまたがって存在していたとみられ、健守命がその始祖に位置づけられている。碑の建立者である長利は、健守命の子孫の黒売刀自が、赤城山南麓の豪族と推定される新川臣(現朝生市の新川か)の子孫の大兒臣(現前橋市の大胡か)と結婚して生まれた子である。彼が勤めた放光寺は、「放光寺」の文字瓦を出した前橋市総社町の山王受寺などと推定される。この寺は、豊国で最古級の寺院だといふが、詳細調査で判明していない。当時、仏教は新来の先進思想であり、長利は相当な知識者だと考えられる。また、山ノ上古墳の形状は、朝野本島の新羅の石碑に類似しており、碑の建立に際しては渡来人も深く関わったと推定される。

なお、碑に隣接する山ノ上古墳は、精緻な切石構みの石室をもつ有力首長の墓であり、七世紀中頃の築造と考えられる。その築造時期は、山ノ上碑(二六八一年)よりも数十年前古い。もとも黒売刀自の父の墓として造られ、後に黒売刀自を追葬(帰葬)したものと考えられる(白石太一郎説)。  
 以上のようにならずか五三文字から、ヤマト政権と地方の支配制度、豪族間の婚姻関係や家族制度、地方仏教の浸透などを多くの上で読み取る工が可能であり、山上碑が一錠の古代史料であることを証明しているのである。



山上碑に登場する人物の系譜

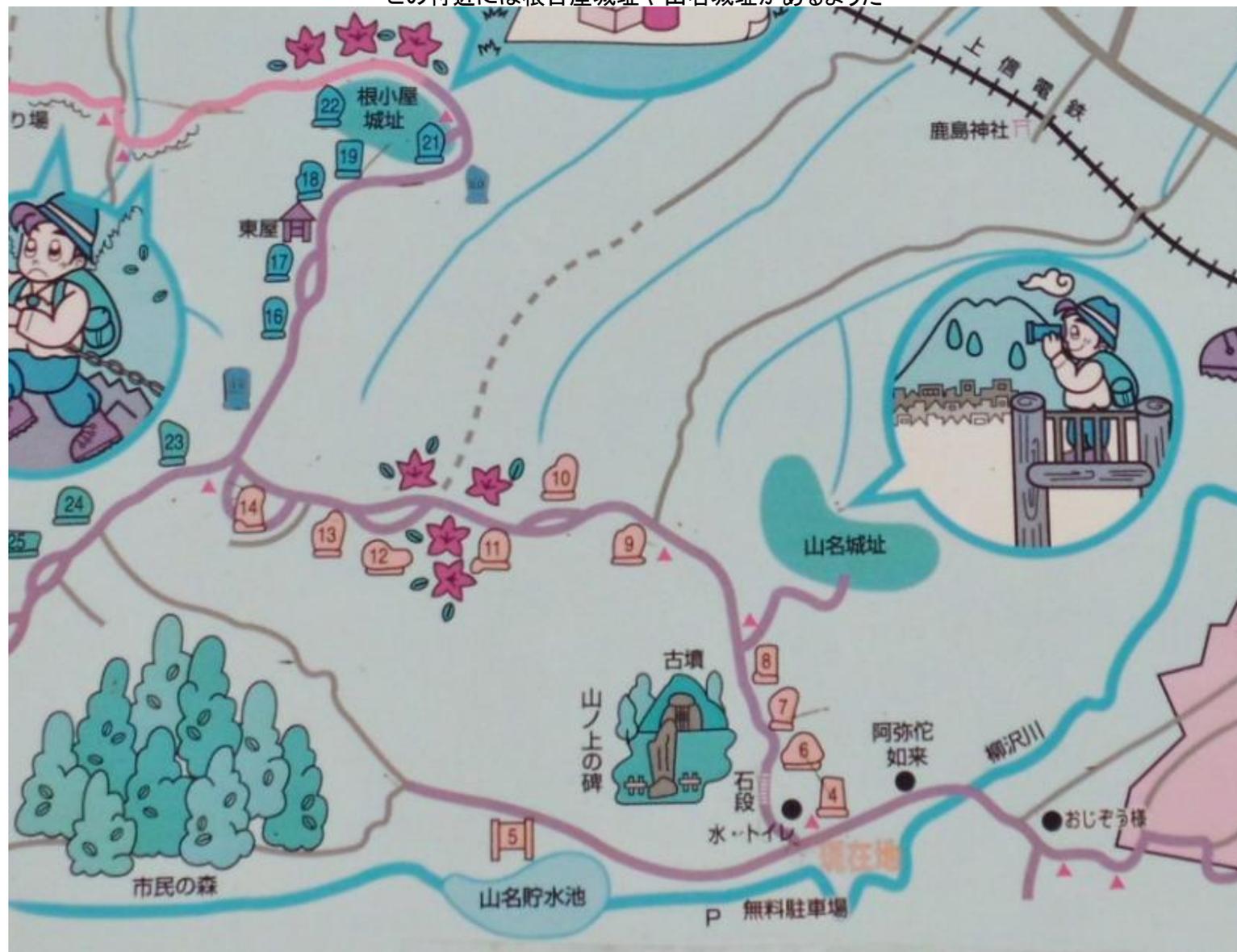
平成二十三年二月二十八日設置  
 高崎市教育委員会

辺りにはさまざまな石造物があった





この付近には根小屋城址や山名城址があるようだ



参考ホームページ

<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121600132/>

<http://nordeg.web.fc2.com/shiseki/yamanoue.html>

<http://abe-sin.sakura.ne.jp/kesiki/gunma/yamanouehi.htm>

<http://blog.goo.ne.jp/hanako1033/e/dd5558129ff4c3db9e0f7520b9f766a8>

<http://www.k2.dion.ne.jp/~tnhc/yamkaj/yamkaj.html>

